

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

493-571

事務事業名	河川自然災害防止事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	建設部	課等名	土木課		包含する細々目	1	8	3	3	12	2	
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり											
施策	41 災害対策の推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等		・飯田市地域防災計画(河川災害等危険箇所調査) ・河川法				
		事業期間	年度～	年度								

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	・飯田市地域防災計画 水害予防 河川災害等危険箇所	未整備危険箇所数:箇所	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			56			
	・水害・土砂災害の発生しない河川への改修	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		最終目標達成年度
			18目標	23	最終目標	
	18実績	23	19目標	24	↑	
23目標		23実績				
18目標		最終目標				
18実績		19目標		↑		
23目標		23実績				

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	・昭和54年6月作成(平成11年9月改定)の飯田市地域防災計画により、河川災害等危険箇所の整備を行い、災害を未然に防ぎ地域住民の安全を確保するものである。 ・河川災害等危険箇所 78河川 78箇所中、平成17年度末で22箇所概成。	18年度の実績 ハード事業(測量調査・工事施工) ・(準)栗沢川他6河川 ソフト事業 ・飯田市地域防災計画の見直しに合わせ、河川危険箇所の把握とデータ化。 ・緊急性、危険性の高い河川の計画的な整備計画の構築。 ・新たな工法等の研究による工事費の削減と施工性の向上を図る。 ・地域住民へ河川危険箇所の情報発信。	施工箇所数(箇所)	7箇所
19年度計画	ハード事業(測量調査・工事施工) ・(準)なみき沢川他6河川 ソフト事業 ・新たな工法等の研究による工事費の削減と施工性の向上を図る。 ・地域住民へ河川危険箇所の情報発信。	施工箇所数(箇所)	6箇所程度	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債	50,000	50,000
	その他		
一般財源			
事業費計(A)	50,000	50,000	
人件費	正規職員所要時間	18年度 710	19年度 500
	臨時職員等所要時間	70	50
	人件費計(B)	2,614	1,842
	トータルコストA+B	52,614	51,842

特定財源内訳や補足事項	地方債(自然災害防止)
-------------	-------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	災害や火災の被害を軽減する。	市民が災害にそなえている割合	現状値	40.1	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	60
	火災発生件数		現状値	63	19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標	50	

<p><b>この事業を開始したきっかけ</b></p> <p>・平成11年9月改定の飯田市地域防災計画により、河川災害等危険箇所等の整備を行い、災害を未然に防ぎ地域住民の安全を確保するものである。</p>	<p><b>事業を取り巻く状況の変化</b></p> <p>・住宅等の開発や森林の荒廃により、降雨時に急激に水量が増加する傾向がある。これまでの河川整備により災害件数は減少しているが、河川からの越水による被害は増加傾向にある。特に都市部周辺の河川整備が必要と思われる。</p>	<p><b>事業に対する市民や議会の意見</b></p> <p>・安全な市民生活のため、市民や議会より危険箇所等の早期事業着手改修が望まれている。</p>
--	--	---

**【See】18年度の振り返り**

目的妥当性評価	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由)</p> <p>・河川整備により災害や浸水等の被害を未然に防止し、住民が安心して暮らせるまちづくりができる。</p>	有効性評価	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 余地がある (その理由)</p> <p>・工事現場において、現況を確認し工法等を精査する中で、新しい工法の採用等必要最小限の費用で最良の工法による工事を実施する。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がある (その理由)</p> <p>・河川災害危険箇所の再調査による危険箇所の見直しによる整備必要箇所の把握。</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 影響あり (その理由)</p> <p>・水害等により、住民の安全な生活や生活基盤の保全に支障を来す。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)</p> <p>・危険箇所の整備により、水害を未然に防ぎ地域住民が安心して生活できる環境を整える。</p>		<p>他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 類似事業なし (類似事業名、理由)</p> <p>・河川自然災害防止に関する類似事業は無い。</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要ある (その理由)</p> <p>・河川管理者として、災害を未然に防ぎ、住民の安全性を確保することは市が関与する必要がある。</p>		<p>効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 可能 (その理由)</p> <p>・危険箇所の調査等を頻繁に実施することにより、大規模な事業規模になる前に改良工事を実施することで事業費の抑制ができる。 ・工事設計時や施工時において工法の検討や工事実施方法の検討を行うことにより経費の節減を図る。</p>
			公平性評価	<p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (受益者とその理由)</p> <p>・飯田市が管理する河川であり、受益者は限定できない。公共性の高い事業であり当事業の実施は妥当である。</p>

**【Plan】改革改善**

<p><b>今後の事業の方向性</b></p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <span style="color: green; font-weight: bold;">→</span> 具体化</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>・飯田市においては、地形状況が急峻であり河川に関する水害等が頻繁に発生しており、特に近年都市周辺部における越水等による被害が増加している。市民の生活基盤や公共施設への被害を防止するため、緊急性の高い未整備危険河川を把握し河川整備の計画的推進を図った。</p>
<p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	<p>・整備率の向上のため、コスト削減に向けた新たな工法等の研究。 ・未整備河川が多く残る中で、緊急性、危険性の高い河川を把握し、計画的な整備計画の構築及び早期に整備を進めるための予算措置。</p>

**【補足事項環境側面】**

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p><input type="checkbox"/> 必要性がない</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>		

**【指摘事項】**

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	